

議案の審議

3月定例会では、平成18年度一般会計予算を始めとする各会計予算、条例の一部改正・制定など57議案ほか、諮問1件が提出されました。

討 論

■本会議における主な討論

最終日の本会議において、討論が行われ、第11・12・13・17・19・33・34・35・36・37・47・48・49・55・58・64・65号の十七議案について反対・賛成の立場で各討論が行われました。

*** ⑪ 議案 ***

（反対）前進面はあるものの、本予算が総体として開発優先、大企業や営利事業者に奉仕し、弱者あるいは支援の必要な市民に冷たい予算となっているものと判断し、反対する。

（賛成）合併して広がった市域の一体性ある基盤整備や均衡ある施設整備の重点的推進、人づくり、歩いて楽しいまちづくり、子育て支援、防災・防犯対策の積極的対応、自立に向けた財政健全化への取り組みなどを評価し、賛成する。

*** ⑬ 議案 ***

（反対）九億五千万円余の事業費となり、歳入の多くは一般会計からの繰入金となる。今の財政状況では、身の丈にあわない急ぎすぎる事業となっていることから、期間延長、縮小等の検討が必要と判断し、反対する。

（賛成）歳入では、保留地の計画的な処分等により財源確保を図り、歳出では、道路や調整池の築造費など、豊川駅周辺及び古宿町が大きく変わるうとする予算である。早期完了を望む声も多く聞かれ、厳しい財政状況の中であるが、大変な重要事業と判断し、賛成する。

*** ⑲ 議案 ***

（反対）新介護保険制度では、今まで利用していたヘルパー、デイケアサービス等の利用抑制がうかがえ、高齢者や利用者の現在の生活が守られるか、不安が残る。また、本市は独自の減免等を行わず、国に負担割合の増を求めないとのことである。何よりも、保険料が三十六・八分の大幅値上げがされるという点で、反対する。

（賛成）介護保険制度を安定的に持続し、円滑な運営を図るためには、応分の負担はやむを得ない中で、保険料は基金等の活用で負担緩和に努めている。また、地域密着型サービスの創設、地域包括支援センターの設置などの新制度にも積極的に取り組んでおり、高齢者の要支援、要介護者に十分な配慮がなされたものと判断し、賛成する。

*** ④⑦ 議案 ***

（反対）利用者に一律十パーセントの負担をさせ、障害の重い人ほど負担が多くなり、障害者の自立を阻むことになる。市独自で軽減策を取る考えもなく、このまま制度が始まっては多くの障害者の生活が破壊されると考え、反対する。

（賛成）障害者自立支援法には、いろいろ意見があることは承知

しているが、条例化しなければ必要とする福祉サービスが受けられなくなり、かえって障害者福祉の後退につながると考え、賛成する。

*** ⑥④ 議案 ***

（反対）「元気の出るまち、住みたくなるまち」とは、地域の福祉や教育、防災・防犯等の最低限のサービスが享受でき、コミュニティのあるまちをイメージすると思うが、この基本構想から生まれる計画は、大企業のための開発や建設事業は進むが、福祉、教育、環境等、最前線での住民サービスは手薄になっており、目標と計画のミスマッチがあると言わざるを得ず、反対する。

（賛成）県内でも例がない職員の手づくりであり、市長と職員が丸となって、つくり上げた新総合計画は、市民にわかりやすい計画とするため、三十八の施策すべてに数値目標が掲げられ、その目標と実績との比較で、達成度の評価ができ、担当部署には、目標達成への責任が伴う計画である。新市の一体性のある発展と住民福祉向上に、第五次総合計画の基本構想及び基本計画の具現化は欠かせないものと判断し、賛成する。

議決状況の一覧

■ 3月定例会

- ⑪18年度一般会計予算
- ⑫18年度豊川西部土地区画整理事業特別会計予算
- ⑬18年度豊川駅東土地区画整理事業特別会計予算
- ⑭18年度公共下水道事業特別会計予算
- ⑮18年度農業集落排水事業特別会計予算
- ⑯18年度公共駐車場事業特別会計予算
- ⑰18年度国民健康保険特別会計予算
- ⑱18年度老人保健特別会計予算
- ⑲18年度介護保険特別会計予算
- ⑳18年度在宅介護支援事業特別会計予算
- ㉑18年度土地取得特別会計予算
- ㉒18年度一宮財産区管理事業特別会計予算
- ㉓18年度水道事業会計予算
- ㉔18年度病院事業会計予算
- ㉕17年度一般会計補正予算（第6号）
- ㉖17年度豊川駅東土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
- ㉗17年度公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- ㉘17年度公共駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- ㉙17年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- ㉚17年度老人保健特別会計補正予算（第4号）
- ㉛17年度土地取得特別会計補正予算（第2号）
- ㉜行政手続条例の一部改正
- ㉝職員定数条例の一部改正
- ㉞市長等の給与に関する条例の一部改正
- ㉟教育長の給与等に関する条例の一部改正
- ㊱職員給与条例の一部改正
- ㊲職員退職手当支給条例の一部改正
- ㊳手数料条例の一部改正
- ㊴中央図書館条例の一部改正
- ㊵ゆうあいの里条例の一部改正
- ㊶社会福祉会館条例の一部改正
- ㊷デイサービスセンター条例の一部改正
- ㊸障害者医療費支給条例の一部改正
- ㊹精神障害者医療費支給条例の一部改正
- ㊺国民健康保険条例の一部改正
- ㊻まちづくり振興基金条例の制定
- ㊼障害者自立支援法施行条例の制定
- ㊽国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定
- ㊾国民保護協議会条例の制定
- ㊿公の施設のあり方の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ①公の施設に係る指定管理者の指定に伴う健康福祉部関係条例の整備に関する条例の制定
- ②公の施設に係る指定管理者の指定に伴う生活活性部関係条例の整備に関する条例の制定

3月定例会・議案審議の内容

■ 委員会の状況

各委員会とも数多くの質疑がありました。

総務委員会

総務委員会には、第33・34・

35・36・37・46・48・49号議案の八件が付託され、審査が行われました。

健康福祉委員会

健康福祉委員会には、第41・

47・50・51・55・65号議案の六件が付託され、審査が行われました。

生活文教委員会

生活文教委員会には、第39・52・54・56・58号議案の五件が

付託され、審査が行われました。

建設委員会

建設委員会には、第53・57・

61・62・63号議案の五件が付託され、審査が行われました。

予算特別委員会

予算特別委員会には、第11号議案から第24号議案の十四件が付託され、審査が行われました。

総合計画特別委員会

総合計画特別委員会には、第64号議案 第五次豊川市総合計画基本構想についての一件が付託され、審査が行われました。

- ③児童遊園条例の一部改正
- ④公の施設に係る指定管理者の指定に伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例の制定
- ⑤健康福祉部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定
- ⑥生活活性部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定
- ⑦建設部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定
- ⑧教育委員会が所管する公の施設に係る指定管理者の指定
- ⑨市道路線の廃止
- ⑩市道路線の認定
- ⑪宝飯郡小坂井町に公の施設を利用させることに関する協議
- ⑫宝飯郡御津町に公の施設を利用させることに関する協議
- ⑬宝飯郡御津町の公の施設の利用に関する協議
- ⑭第5次豊川市総合計画基本構想
- ⑮介護保険条例の一部改正
- ⑯ゆうあいの里条例の一部改正
- ⑰病院事業の設置等に関する条例等の一部改正
- 諮問1 人権擁護委員候補者の推薦

⑪⑫⑬⑰⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿①②議案は賛成多数（反対は、日本共産党豊川市議団の2名）で、その他の議案は全員一致で原案可決。